

令和4年第1回（3月）上越市議会定例会

厚生常任委員会資料

案件番号	案件名	提出課	ページ
議案第12号	令和3年度上越市一般会計補正予算（第9号）	市民課	1
議案第1号	令和4年度上越市一般会計予算	市民課ほか	2～26

予算案件における目標の記載について

全ての事業を義務的事業、経常的事業、政策的事業に分類し、下記のように整理して記載しています。

- 1 義務的事業…生活保護など扶助費全般や戸籍事務、国県事業等への負担など
 - ・法定受託事務など法令等の目的・趣旨と事業の目的と合致しており、市民に安定的にサービスを提供することが目標であるため記載しません。
 - ・市の政策としてサービスを付加する場合は記載しています。
- 2 経常的事業…財務会計事務、契約事務、庶務事務、施設の維持管理運営など
 - ・行政運営に必要不可欠な財務会計事務などの内部管理事務については、滞りなく実施することが目標であるため記載しません。
 - ・施設の維持管理運営は、適切な維持管理と運営により市民等が安全安心に利用できることが目標であるため記載しません。ただし、施設の付加価値を高めるための取組を実施し、入館者や利用者数、利用件数や実施件数などを設定できる場合は目標を記載しています。
- 3 政策的事業…上記以外の事業
 - ・全ての事業について目標を記載しています。

所管委員会	厚生常任委員会
関係案件	議案第12号
提出課	市民課

歳出科目 (P112～P113)	2款3項1目	戸籍住民基本台帳費
------------------	--------	-----------

単位：千円

事業名	補正前	補正額	補正後
戸籍住民基本台帳費	324,921	△3,611	321,310

主な補正財源		主な経費	
国庫支出金	△3,215	委託料	△3,611
一般財源	△396		

【補正理由】

マイナンバーカード出張申請受付等業務委託の入札差金を減額し、関連歳入を整理するとともに、社会保障・税番号制度システム整備費補助金の交付決定を受け、財源を組み替えるもの

【補正内容】

(財源内訳)

区 分		補正前	補正額	補正後
国庫支出金	個人番号カード交付事務費補助金	93,733	△3,611	90,122
	社会保障・税番号制度システム整備費補助金	0	396	396
一般財源		396	△396	0
合 計		94,129	△3,611	90,518

(歳出)

区 分		補正前	補正額	補正後
委託料		30,891	△3,611	27,280
合 計		30,891	△3,611	27,280

所管委員会	厚生常任委員会
関係案件	議案第1号
提出課	市民課

歳出科目 (P138～P141)	2款1項11目	レインボーセンター費
------------------	---------	------------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
レインボーセンター管理運営費	18,430	22,025	△3,595

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	2,816	一般財源	15,522
財産収入	15	報償費	12
諸収入	77	需用費	3,639
		役務費	191
		委託料	14,131
		使用料及び賃借料	457

【目的】

直江津地区の多目的集会施設として、市民が安全・安心に利用できる交流・活動の場を提供することにより、地域に密着した交流拠点としての役割を担う。

【実施内容】

- ・施設の維持管理を適正に行い、安全で使いやすい施設を提供する。
- ・市民交流の場を提供するため、1階のロビーに市民の作品を展示するコーナーを引き続き設ける。

<施設の概要>

所在地	中央一丁目16番1号			
設置・構造	平成2年度 鉄筋コンクリート造 4階建			
延床面積	1,931.52㎡ (敷地面積2,016.50㎡)			
施設内容	1階	北出張所 多目的ホール (130人) 第1会議室 (12人)	2階	北部まちづくりセンター 和室 (3室) (各20人) 茶室 (15人) 第2会議室 (20人) 談話室
	3階	第3会議室 (30人) 調理実習室 (25人) ボランティアホール	4階	機械室
	併設駐車場 31台			
利用時間	午前8時30分～午後10時			
休館日	第4木曜日 (休日に当たるときはその翌日)、12月29日～1月3日			

<利用状況>

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用人数 (人)	23,974	12,791	11,939
利用件数 (件)	2,612	1,747	1,559
使用料収入 (千円)	2,537	2,641	1,966

(令和3年度は令和4年1月末現在)

歳出科目 (P148～P149)	2 款 1 項 24 目	雁木通りプラザ費
------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
雁木通りプラザ管理運営費	27,358	29,533	△2,175

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	4,164	一般財源	22,924
財産収入	53	需用費	4,871
諸収入	217	役務費	356
		委託料	21,661
		使用料及び賃借料	467
		負担金補助及び交付金	3

【目的】

高田地区の中心市街地のコミュニティスペースとして、市民が安全・安心に利用できる交流・活動の場を提供することにより、地域に密着した交流拠点としての役割を担う。

【実施内容】

- ・施設の維持管理を適正に行い、安全で使いやすい施設を提供する。
- ・市民交流の場を提供するため、4 階の市民サロンに市民の作品を展示するコーナーを引き続き設ける。

<施設の概要>

所在地	本町三丁目 2 番 26 号			
設置・構造	平成 11 年度 鉄骨鉄筋コンクリート造 6 階建			
延床面積	3,167.27 m ² (敷地面積 1,785.07 m ²)			
施設内容	1 階	南出張所	2 階	コミュニティ放送スタジオ
	3 階	ボランティアホール	4 階	市民サロン
	5 階	和室 (100 人)	6 階	多目的ホール (150 人)
	地下	駐車場スペース 42 台		
利用時間	午前 8 時 30 分～午後 10 時			
休館日	第 4 水曜日 (休日に当たるときはその翌日)、12 月 29 日～1 月 3 日			

<施設利用状況>

区分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用人数 (人)	43,169	23,468	21,893
利用件数 (件)	1,401	945	974
使用料収入 (千円)	1,178	906	1,130

(令和 3 年度は令和 4 年 1 月末現在)

<駐車場利用状況>

区分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用台数 (台)	72,014	65,172	51,962
使用料収入 (千円)	3,236	3,027	2,074

(令和 3 年度は令和 4 年 1 月末現在)

歳出科目（P160～P161）	2款3項1目	戸籍住民基本台帳費
-----------------	--------	-----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
戸籍住民基本台帳費	297,034	289,944	7,090

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	76,836	諸収入	866
国庫支出金	134,364	一般財源	84,714
県支出金	254		
		報酬	70,726
		給料	33,761
		職員手当等	38,854
		共済費	23,715
		委託料	83,507
		使用料及び賃借料	20,620

【目的】

市民課、各総合事務所及び南・北出張所において、戸籍、住民異動などの届出受付、各種証明交付等の窓口サービスを的確かつ迅速に提供するとともに、マイナンバーカードの普及に向け、出張申請受付の実施やカードの交付に係る体制強化を図る。

【実施内容】

(1) 各種証明書の交付、届出の受理等

<主な取扱見込件数>

(単位：件)

戸籍 謄抄本等	住民票写し ・住所等証明	印鑑登録・ 証明書	戸籍届出	住民異動届	旅券交付
76,500	94,200	50,500	8,000	18,100	3,200

(2) 窓口サービス向上に向けた取組（①、⑤は窓口関係課も実施）

- ①年末や転入届・転出届が集中する3月末・4月初めの日曜日に窓口を開設する。
- ②市民課、南・北出張所の窓口開設時間を午後6時まで延長する（3月～11月）。
- ③電話予約により住民票の写し及び印鑑登録証明書の時間外交付を午後10時までで行う。
- ④コンビニ交付サービス（住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍謄抄本（市外在住の本籍人への交付可）、所得課税証明書）を実施する（午前6時30分～午後11時）。
- ⑤窓口サービスの満足度アンケート調査を実施し窓口改善につなげる。

(3) 住民票の写し等の不正取得防止に向けた取組

- ①証明書の申請受付及び各種届出時における本人確認を徹底する。
- ②「事前登録型本人通知制度」について、窓口用封筒や各種証明書の台紙への制度案内の刷り込み、各種研修会やマイナンバーカード出張申請受付等におけるチラシの配布、コミュニティ放送での広報などにより、制度の普及啓発を図る。
 - ・令和4年1月末までの本人通知制度延べ登録者数：2,034人

(4) マイナンバーカードの取得促進の取組

- ①民間企業や商業施設等での出張申請受付を引き続き実施する。
- ②カード交付等を対象とした休日窓口を開設する（月2回、土曜日又は日曜日）とともに、市民課窓口開設時間を延長する（週1回、午後5時15分～7時）。
 - ・令和4年1月末までのマイナンバーカード延べ交付件数：65,603件

歳出科目（P160～P161）	2款3項2目	住居表示整理費
-----------------	--------	---------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
住居表示整理費	853	493	360

主な財源		主な経費	
一般財源	853	報酬	35
		旅費	4
		需用費	814

【目的】

「住居表示に関する法律」に基づき、建物が密集している市街地において、住所を分かりやすく表示するため、住所の表示方法を合理的なものにし、生活の利便性を高める。

【実施内容】

- ・街区表示板等の維持管理及び住居表示台帳の更新を適切に行うため、随時、現状を調査する。
- ・整備計画や破損状況等により街区表示板等を取り替えるとともに、現状に合わせて住居表示台帳を修正する。
- ・住居表示実施区域内の新築建物等について住居番号の符定を行い、住居番号表示板を交付する。

提出課	環境保全課
-----	-------

歳出科目 (P218～P219)	4款2項1目	環境総務費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
環境学習施設管理運営事業	15,388	15,072	316

主な財源		主な経費	
一般財源	15,388	需用費	735
		役務費	177
		委託料	13,828
		使用料及び賃借料	648

【目的】

市民の環境保全に対する理解を深めるとともに、自主的な活動を喚起するため、環境に関する総合的な学習の場を提供する。

【4年度目標】

地球環境学校における環境学習プログラム利用者数 2,600人

【実施内容】

- ・環境NPO法人への業務委託 13,154
中ノ俣の自然やそこに暮らす人々の知恵と心に触れる自然体験学習を中心とした、環境学習プログラムの企画・実施等に係る業務を委託
- ・市内小・中学校等へのバス借上料片道補助 274
市内の保育園・幼稚園、小・中・高等学校等が地球環境学校を利用する際に借り上げるバスの片道料金を補助
- ・施設の維持管理 1,960
警備・消防・浄化槽等設備の管理委託、複写機・パソコン等の借上、施設・備品の修繕、光熱水費等

歳出科目（P218～P219）	4款2項1目	環境総務費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
環境政策総務事業	15,103	3,765	11,338

主な財源		主な経費			
諸収入	6	報酬	1,719	需用費	294
一般財源	15,097	共済費	294	委託料	6,926
		旅費	416	備品購入費	4,807

【目的】

当市の第3次環境基本計画で定めた、適切な廃棄物処理や地球温暖化対策を進める等の望ましい環境像実現に向けた環境施策を推進するとともに、次期計画の策定及び今後の脱炭素社会の実現に向けた施策の検討を進める。

【4年度目標】

- ・令和4年度に終期を迎える上越市第3次環境基本計画及び上越市地球温暖化対策実行計画について近年の環境課題や国の法改正の動向等を踏まえた改定を行う。
- ・市民、企業等の環境意識の向上に向けた学習の機会を提供するとともに、環境団体等との連携強化や団体同士のネットワークづくりによる環境学習を推進する。

【実施内容】

- ・[新]第2次地球温暖化対策実行計画等の策定 7,372
脱炭素社会の実現に向けて、国が新たに示した温室効果ガスの削減目標に基づき、当市の削減目標の見直しを図るため、令和5年度を初年度とする上越市第4次環境基本計画と上越市第2次地球温暖化対策実行計画を統合して策定するとともに、再生可能エネルギーの導入等、具体的な施策検討のための調査、研究を行う。
- ・[新]電気自動車の導入及び周知・啓発 4,894
電気自動車の普及の促進を図るため、新たな電気自動車を1台導入し、イベント等において環境性能の紹介や電源として活用するなど、広く市民や事業者に、電気自動車のメリットを周知・啓発する。
- ・第3次環境基本計画に基づく環境施策の進捗管理と進捗状況の公表
- ・温室効果ガスの削減に向けた公共施設等の省エネルギー化の取組推進
- ・市民の環境意識向上や環境団体の活動推進に資する環境団体との情報交換、SNSや広報などの媒体を活用した情報発信
- ・地球温暖化対策や海洋プラスチックごみ等の環境課題に対する市民等の意識醸成をねらいとした、環境団体との連携による環境学習会の開催

提出課	生活環境課
-----	-------

歳出科目 (P218～P219)	4款2項2目	生活環境費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
生活環境保全美化対策事業	31,007	29,016	1,991

主な財源		主な経費	
県支出金	3,669	報償費	740
一般財源	27,338	需用費	1,118
		役員費	476
		委託料	28,296
		負担金補助及び交付金	377

【目的】

町内会等と連携した美化活動や衛生活動等により、良好な生活環境の保全と衛生環境を確保する。

【4年度目標】

- ・町内会や各種団体が実施するクリーン活動、市道側溝清掃及び不法投棄物回収活動を支援することにより、良好な生活環境を維持する。
- ・県や海岸管理者、市民団体等と連携し、海岸漂着ごみ等の収集を行い、海岸線の環境美化を図る。

【実施内容】

(1) 全市クリーン活動 6,368

- ・年間を通して全町内会に参加を呼びかけ、散乱ごみ等の回収や清掃活動を実施する。

<参加状況>

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (1月末現在)
参加団体数	1,793	1,699	1,698
参加人数	61,269	47,913	54,448
回収量(kg)	92,587	82,188	97,544



<海岸清掃の様子>

- ・海岸管理者等と連携し、重機を用いて海岸漂着ごみ等の収集、運搬、処理を行う。

(2) 市道側溝土砂収集運搬事業 20,153

- ・町内会が清掃した市道側溝の土砂を入れた土のうを収集運搬する。
- ・収集した土のうを破袋して異物を取り除き、県外の最終処分場へ搬出する。
- ・合併前上越市(145町内会)、柿崎区(14町内会)、大潟区(8町内会)、頸城区(4町内会)の171町内会で実施予定

(3) 不法投棄物回収事業 3,722

- ・上越市不法投棄防止情報連絡協議会や上越市海岸線環境美化促進協議会、市民・事業者・行政機関と連携し、不法投棄の未然防止対策の検討や監視、回収作業を実施する。

- ・業者委託により、大量・大型の不法投棄物を回収する。
- ・回収した不法投棄物のうち、タイヤや冷蔵庫など適正処理困難物を処分する。
- ・不法投棄多発箇所に投棄防止啓発看板や不法投棄防止ネットを設置する。



<海岸での不法投棄>



<農道での不法投棄>

(4) ごみヘルパー事業 764

- ・高齢や障害などの理由でごみの分別や集積所への排出が困難な世帯に対し、町内会等と連携してヘルパーを委嘱・派遣する。

<支援数>

区 分	令和2年度	令和3年度 (1月末現在)	令和4年度 (見込み)
委嘱人数	66人	61人	68人
支援世帯数	71世帯	62世帯	69世帯

提出課	環境保全課
-----	-------

歳出科目（P 220～P 221）	4 款 2 項 3 目	公害対策費
-------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
大気汚染対策事業	160	160	0

主な財源		主な経費	
一般財源	160	役務費	160

【目的】

大気汚染の状況を市民に周知するほか、悪臭苦情に係る臭気指数測定を実施するなど、大気環境の保全等の状況を監視する。

【4年度目標】

大気汚染物質（PM2.5、光化学スモッグ）の濃度が高まり健康被害が生じるおそれがある場合には、速やかに市民に情報提供、注意喚起を実施する。

【実施内容】

- ・大気汚染物質の濃度が高まり健康被害が生じるおそれがある場合、速やかに市民に情報提供、注意喚起できるよう、大気汚染に係る情報を収集する。
- ・悪臭苦情に対し、臭気測定を必要に応じて実施するなど、早期解決に向けた対応を行う。

歳出科目（P 220～P 221）	4 款 2 項 3 目	公害対策費
-------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
騒音・振動対策事業	3,312	3,208	104

主な財源		主な経費	
一般財源	3,312	需用費	1
		委託料	3,311

【目的】

騒音規制法に基づき、住居地域、高速自動車道沿道地域及び自動車騒音常時監視地域の騒音測定を行い、環境基準の達成状況を監視する。

【4年度目標】

事業場の騒音・振動が規制基準を超過した場合に、指導により改善された割合：100%

【実施内容】

- ・環境騒音の測定 824
住居地域 6 地点、高速自動車道沿道地域 8 地点の騒音測定を実施する。
- ・自動車騒音の常時監視 1,958
幹線道路の沿道において騒音測定を実施し、環境基準を超過した場合、施設管理者に改善を求める。
- ・事業場の監視
公害防止協定締結事業場などの騒音・振動を監視する。事業場が原因の苦情については、改善に向け現地確認や測定、事業場との交渉等を実施する。
- ・特定建設作業に伴う公害苦情防止
削岩機等を使用する建設作業（特定建設作業）に伴う公害苦情を未然に防止するため、騒音・振動の防止方法等について、工事施工業者への事前指導を実施する。
- ・北陸新幹線の騒音測定 529
市内 1 地点で騒音測定を実施し、環境基準を超過した場合、施設管理者等に改善を求める。

歳出科目 (P 220～P 221)	4 款 2 項 3 目	公害対策費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
地盤沈下対策事業	8,958	8,951	7

主な財源		主な経費	
一般財源	8,958	役務費	400
		委託料	8,558

【目的】

観測井による地下水位・地層収縮量の観測及び水準測量を実施し、地盤沈下の状況を監視するほか、節水意識を啓発することで、地盤沈下を抑制する。

【4年度目標】

新設の揚水設備における降雪検知器の設置割合を90%以上とする。

【実施内容】

- ・水準測量の実施 8,558
国、県と共同で行う水準測量において、1級路線7.6km及び2級路線58kmの調査を行う。
- ・地盤沈下緊急時対策（対象期間12月～翌年3月）
県と共同で地下水位及び地層収縮量の観測を行うとともに、地下水位の低下等により地盤沈下注意報又は警報が発令された場合は、広報車の活用等により地下水の節水啓発を図る。
- ・地下水位及び地層収縮量の観測 325
高田城址公園観測井（G4：深度262m）、旧高田地区公民館観測井（G1：深度10m）における地下水位及び地層収縮量を観測する。
- ・地下水の節水啓発 75
県と共催で揚水設備設置者等研修会を実施するほか、広報上越・市ホームページ等により節水啓発を行う。
- ・揚水設備設置工事への立会い
ストレーナーの下限位置が地表面下20m以深の揚水設備の設置工事に立ち会い、ポンプの定格出力、吐出口の口径等を確認する。

歳出科目 (P 220～P 221)	4 款 2 項 3 目	公害対策費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
水質汚濁対策事業	17,334	17,438	△104

主な財源		主な経費	
一般財源	17,334	需用費	83
		役務費	7,590
		委託料	7,155
		使用料及び賃借料	2,506

【目的】

河川・海域・湖沼の水質等測定により環境基準の達成状況などを監視するほか、事業場排水の水質測定により排水基準の遵守状況などを調査する。

また、地下水の水質概況を把握し、汚染の有無を確認する調査や過去に地下水汚染が認められた地域の現況を調査する。

【4年度目標】

水質汚濁防止法に基づく特定事業場の排水が基準を超過した場合に、指導により改善された割合：100%

【実施内容】

- ・河川等の水質・底質調査 9,989

			地点数・延べ回数
水質	河川	県水質測定計画	13 地点・延べ 146 回
		計画以外	10 地点・延べ 27 回
	海域	県水質測定計画	6 地点・延べ 36 回
		計画以外	7 地点・延べ 9 回
	地下水	県水質測定計画	10 地点・延べ 21 回
		計画以外	2 地点・延べ 2 回
底質	河川	県水質測定計画	3 地点・延べ 12 回
		計画以外	4 地点・延べ 4 回

- ・水質汚濁防止法に基づく特定事業場の排水調査 (102 事業場・延べ 108 回) 5,651
- ・協定に基づくゴルフ場排水・地下水調査 (3 ゴルフ場・8 地点・延べ 32 回) 1,179
- ・魚類の調査 (4 地点・3 魚種・39 検体) 433
- ・広報上越、市ホームページによる油流出事故防止の啓発

歳出科目（P 220～P 221）	4 款 2 項 4 目	自然環境保全費
-------------------	-------------	---------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
自然環境保全推進事業	800	500	300

主な財源		主な経費	
一般財源	800	報酬	271
		旅費	89
		需用費	10
		委託料	420
		使用料及び賃借料	10

【目的】

人と自然環境の豊かなふれあいを保つとともに、自然に対する見方や考え方を見直す機会となる事業や、豊かな自然環境が残る地域において地域の団体等が行う各種保全活動を支援することで、地域の豊かな自然環境を守り生物多様性の保全を図る。

【4年度目標】

自然環境保全地域を1か所指定する。

【実施内容】

- ・自然環境保全推進委員会の運営 144
自然環境保全地域の指定等について検討する。
委員数：8人、任期：2年（令和4年度改選）、会議開催数：年3回
- ・自然環境調査・監視員による巡回及び調査 226
自然環境保全地域等の巡回や現況調査等を行う。
調査・監視員数：5人
- ・自然環境保全地域の指定等
自然環境に著しく影響を与える行為等を制限しその保全を図るため、希少な野生動植物が生息・生育するなど豊かな自然環境が残る地域を自然環境保全地域に指定するとともに、次期指定候補地の選定に向け、現地調査や情報収集等を行う。
- ・自然環境保全団体等の支援
自然環境保全地域で、地域の団体等が行う保全活動（外来種の駆除、希少種の生息調査及び盗掘防止の巡回等）の支援を行う。

歳出科目（P 220～P 221）	4 款 2 項 4 目	自然環境保全費
-------------------	-------------	---------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
鳥獣保護管理事業	4,820	6,931	△2,111

主な財源		主な経費	
県支出金	737	報酬	959
一般財源	4,083	旅費	168
		需用費	335
		委託料	3,358

【目的】

野生鳥獣による農作物被害や人身被害を防止するため、有害鳥獣捕獲許可を通じて鳥獣保護及び管理並びに狩猟の適正化を図る。

地域に生息する野生鳥獣の生態及び目撃情報を収集し、市民に周知するとともに、野生鳥獣に関する正しい知識や人身被害の防止方法等を啓発する。

【4年度目標】

クマやイノシシなどの大型野生鳥獣による人身被害：0人

【実施内容】

- ・大型野生鳥獣の出没抑制対策 2,764
住宅地周辺におけるクマやイノシシなど大型野生鳥獣の目撃件数が増加傾向にあることから、人身被害防止に向け、出没を抑制するための緩衝帯の整備等を行う。
- ・人身被害防止のための意識啓発 232
大型獣被害対策学習会の開催など、大型野生鳥獣の出没が多い地域等において、「一人一人が被害や誘因を防止する」ための意識を啓発するほか、各種イベント時等において、これらの生態や人身被害防止対策等を周知する。
- [充]・大型獣追い払い等装備の整備 85
住宅地周辺に大型獣が出没した際、事態の早期の収束を図るため追い払い等に必要な用具等を整備する。
- ・大型野生鳥獣による人身被害の未然防止体制の整備 1,613
大型野生鳥獣による人身被害を未然に防止するため、鳥獣被害対策実施隊員等による適切な調査や捕獲等を行う。
- ・クマ出没時における注意喚起 68
クマが出没した際は、速やかに安全メール等で周知するとともに、市ホームページなどで情報提供するほか、出没地点に注意喚起の看板を設置する。
- ・有害鳥獣捕獲許可事務
申請された有害鳥獣捕獲の内容が適切か審査し、安全確保に必要な条件を付して許可する。あわせて、周辺住民や関係機関（学校等）に捕獲の実施を周知し、事故防止を図る。

歳出科目（P 220～P 221）	4 款 2 項 5 目	地球環境費
-------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
風力発電施設管理事業	4,892	153,946	△149,054

主な財源		主な経費	
一般財源	4,892	需用費	748
		役務費	47
		委託料	4,097

【目的】

稼働を停止した風力発電施設の撤去に向けた協議等を進めるとともに、設備撤去までの間、施設を適切に管理する。

【4年度目標】

うみてらす名立風力発電所について、設備撤去までの間、必要な点検等を行い、施設を適切に管理するとともに、撤去に向けた関係機関等との協議を進める。

【実施内容】

- ・施設の維持管理

安全確保のための点検及び各種維持管理業務を実施する。

施設名	設置場所	設置年月	処分制限
うみてらす名立風力発電所	うみてらす名立	平成 15 年 12 月	令和 35 年 11 月

提出課	生活環境課
-----	-------

歳出科目 (P 222～P 223)	4 款 3 項 1 目	清掃総務費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
清掃総務管理費	8,513	8,114	399

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	69	旅費	266
県支出金	10	需用費	4,103
一般財源	8,434	役務費	603
		使用料及び賃借料	2,179
		負担金補助及び交付金	1,303

【目的】

各種団体の活動への支援等を通じて、市内の生活環境の保全を図る。

【実施内容】

- ・各種団体への負担金、補助金 1,303
- ・関川水系土地改良区水路使用料 527
(市の施設に係る水路使用料)
- ・車両維持管理費(燃料費、備品修繕料等) 4,811
- ・複写機借上料 813
- ・その他(消耗品費等) 1,059

歳出科目 (P 222～P 223)	4 款 3 項 2 目	塵芥処理費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
ごみ収集運搬事業	684,875	694,164	△9,289

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	218,603	報酬	2,638
諸収入	264	需用費	736
一般財源	466,008	役員費	24,768
		委託料	649,567
		負担金補助及び交付金	5,858

【目的】

家庭ごみ（燃やせるごみ、燃やせないごみ）の収集運搬及び中間処理を適正に行うことにより、生活環境の保全を図る。

【4 年度目標】

市民にごみの発生抑制と分別の徹底を呼びかけ、家庭ごみの減量とリサイクルの推進を図る。

【実施内容】

- (1) ごみ収集運搬業務委託 424,341
 - ・燃やせるごみ及び燃やせないごみの収集運搬を行う。
 - 燃やせるごみ 週 3 回収集、燃やせないごみ 月 2 回収集
 - ・収集運搬事業者が行う、新型コロナウイルス感染予防対策への支援を行う。

- (2) 燃やせないごみ中間処理業務委託 51,949
 - ・燃やせないごみを中間処理施設にて破碎し、資源物（金属類等）を選別した後に、残さをクリーンセンターへ搬入する。

<燃やせないごみ中間処理量> (単位：t)

令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度 (見込み)	令和 4 年度 (見込み)
2,851	3,025	3,051	3,008

- (3) 家庭ごみ有料化事業 199,824
 - ・家庭ごみ指定袋及び指定シールを作成するとともに、保管・配送業務を実施する。
 - ・3 歳未満児の属する世帯や高齢者など紙おむつ長期使用者等に対し、減免制度を設け、家庭ごみ指定袋等を配付する。

- (4) ごみ集積施設設置費補助事業 5,858
 - ・町内会が行うごみ集積施設の新設・修繕に要する費用の一部を補助する。
 - ・補助率：1/2（限度額：1 基当たり 10 万円）

<新設・修繕の件数>

(単位：件)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (見込み)	令和4年度 (見込み)
新 設	62	61	59	61
修 繕	11	5	10	9
合 計	73	66	69	70

- (5) その他、ごみ収集運搬事業に要する経費 2,903
 ・ごみ分別収集カレンダーの作成等

歳出科目（P 224～P 225）	4 款 3 項 2 目	塵芥処理費
-------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
資源物分別収集事業	819,520	816,500	3,020

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	25,743	諸収入	13,482
国庫支出金	167,861	一般財源	612,418
財産収入	16		
		旅費	196
		需用費	5,293
		役務費	3
		委託料	813,992
		使用料及び賃借料	36

【目的】

循環型社会の形成に向け、分別収集した資源物の再資源化を推進する。

【4 年度目標】

資源物の再資源化を推進し、家庭系廃棄物のリサイクル率を令和3年度実績以上とする。

【実施内容】

(1) 資源物分別収集・中間処理等 450,910

- ・家庭から排出されるペットボトルや容器包装等の資源物の収集運搬並びに収集した資源物の中間処理及び再資源化を行う。
- ・収集運搬事業者が行う、新型コロナウイルス感染予防対策への支援を行う。

<再資源化後の用途>

品目	収集回数・方法	中間処理	用途
びん	月2回	色選別	市外の工場で色選別し、ガラスびんの原料として再資源化
缶		選別 圧縮 梱包	市外の工場、アルミは自動車の原材料に、スチールは鉄筋等に再資源化
ペットボトル			市外の工場で卵のパックなどに再資源化（一部は容器包装リサイクル協会を經由）
新聞紙、雑誌類、段ボール			市外の工場で新聞紙は新聞紙、雑誌類はボール紙、段ボールは段ボールに再資源化
容器包装（プラスチック製）	週1回		容器包装リサイクル協会を通じてプラスチック製品等に再資源化
容器包装（紙製）		容器包装リサイクル協会を通じてトイレットペーパー等に再資源化	
乾電池	隔月1回	なし	県外の工場で金属の材料として再資源化
蛍光灯	隔月1回	破碎	県外の工場でガラスの原料に再資源化
廃食用油	協力店から 随時	なし	県外の工場でインク、塗料等に再資源化
小型家電	拠点収集	分解 選別	福祉事業所等で中間処理後、市外の工場で金属の材料として再資源化

(2) 資源物常時回収ステーション等の整備 5,222

- ・資源物常時回収ステーションの維持管理（自動消火器の設置等）を適正に行うとともに、掲示物により適正利用を周知する。
- ・町内会等が設置するごみ集積所で使用する看板、品目表示板及び回収容器を作成し、配付する。

(3) 生ごみリサイクル事業 363,388

- ・分別収集した生活系生ごみを、市内の民間処理施設でメタン発酵させバイオガス化し、汚泥乾燥用の燃料等として利用するほか、乾燥した汚泥を有機肥料やセメント原料として再利用する。
- ・収集運搬事業者が行う、新型コロナウイルス感染予防対策への支援を行う。

<生ごみの収集量>

(単位：t)

令和元年度	令和2年度	令和3年度 (見込み)	令和4年度 (見込み)
7,993	7,591	7,522	7,562

歳出科目（P 224～P 225）	4 款 3 項 2 目	塵芥処理費
-------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
ごみ処理対策事業	47,401	35,950	11,451

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	14,849	報酬	21,815
諸収入	28	職員手当等	4,458
一般財源	32,524	共済費	2,853
		旅費	1,765
		委託料	5,994
		工事請負費	8,635

【目的】

廃棄物の適正な処理を進め、生活環境の保全を図る。

【4 年度目標】

廃棄物の適正な処理を進めるとともに、廃止した最終処分場等の維持管理を行う。

【実施内容】

(1) 最終処分場維持管理費 15,947

- ・最終処分場の維持管理及び処分場からの浸出水や観測用井戸の水質検査を行う。

<最終処分場等の状況（平成の市町村合併後）>

区分	施設名	埋立て等の状況
合併前上越市	薬師山埋立地	平成 17 年 12 月 搬入終了
安塚区	安塚区円平坊最終処分場	令和 元年 7 月 廃止
	安塚区中船最終処分場	平成 19 年 10 月 廃止
柿崎区	柿崎区車地ごみ最終処分場	平成 14 年 3 月 搬入終了
大潟区	大潟区一般廃棄物最終処分場	平成 22 年 3 月 暫定廃止
頸城区	頸城区一般廃棄物最終処分場	平成 21 年 12 月 暫定廃止
吉川区	吉川区片田最終処分場	平成 21 年 12 月 廃止
中郷区	中郷区しなのわたし最終処分場	令和 2 年 12 月 廃止
板倉区	板倉区玄藤寺埋立処分場	平成 20 年 11 月 暫定廃止
清里区	清里区東戸野最終処分場	平成 20 年 12 月 暫定廃止
三和区	三和区北代最終処分場	平成 22 年 3 月 暫定廃止

※ 上記のほか、平成の市町村合併前に暫定廃止とした最終処分場等が 4 か所ある。

(2) 最終処分場整備事業 347

- ・市内における公共関与の広域最終処分場の整備に向けて、新潟県と情報交換を行うとともに、県が主体となって進める適地選定や地元に対する説明等に協力する。

(3) その他、ごみ処理対策の推進に要する経費 31,107

- ・不法投棄物の回収作業、野焼きの現地指導、ごみ集積所や資源物常時回収ステーションの巡回・排出物の整理・指導などを行う。

歳出科目（P 224～P 225）	4 款 3 項 2 目	塵芥処理費
-------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
ごみ焼却施設管理運営費	679,770	685,632	△5,862

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	319,365	報酬	111
財産収入	168	旅費	174
諸収入	360,237	需用費	351
		委託料	676,313
		負担金補助及び交付金	
			2,763

【目的】

全市域からクリーンセンターへ搬入される可燃ごみを、廃棄物の処理及び清掃に関する法律や環境基準に基づき適正に処理し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

【実施内容】

- ・クリーンセンター運営維持管理委託料 446,931
- ・焼却灰最終処分委託料 229,382
- ・公害健康被害補償汚染負荷量負担金等 2,763
- ・その他施設管理経費（修繕料等） 694

<可燃ごみ処理量>

(単位：t)

令和元年度	令和2年度	令和3年度 (見込み)	令和4年度 (見込み)
49,376	50,632	51,265	49,833

歳出科目（P224～P227）	4款3項2目	塵芥処理費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
廃棄物処理施設整備事業	294,877	664,269	△369,392

主な財源		主な経費			
国庫支出金	81,789	旅費	4	委託料	6,205
市債	199,800	需用費	79	使用料及び賃借料	20
一般財源	13,288	役務費	88	工事請負費	288,452

【目的】

供用を廃止したごみ焼却処理施設を除却し、リサイクルを推進するための資源ごみ等貯留施設を整備する。

【4年度目標】

- ・関係法令等に準拠するとともに、周辺環境の保全に努めながら、令和4年度の完工を目指し、旧第2クリーンセンターの除却工事を行う。
- ・旧第2クリーンセンター跡地に整備する資源ごみ等貯留施設（ストックヤード）の新築工事に着手する。

【実施内容】

- ・旧第2クリーンセンターの除却工事（3年計画の最終年度） 175,705
- ・資源ごみ等貯留施設（ストックヤード）の新築工事（2年計画の1年目） 112,747
- ・その他（工事施工監理業務委託等） 6,425

＜スケジュール＞

	項目	令和4年度	令和5年度
1	旧第2クリーンセンター除却工事		
2	資源ごみ等貯留施設（ストックヤード）新築工事		

＜新築施設概要＞

項目	内容	
1 施設種類	資源ごみ等貯留施設（ストックヤード）	
2 整備場所	大字東中島 2963 番地（旧第2クリーンセンター跡地）	
3 建物	鉄骨造、平屋建て、延床面積：454.5 m ²	
4 貯留対象物	①資源ごみ	ガラスびん、牛乳パック、白色トレイ、小型家電、乾電池
	②破砕処理物	ライター
5 管理諸室	作業場、休憩室、更衣室、トイレ	
6 付帯設備	ライター破砕装置	

歳出科目 (P 226～P 227)	4 款 3 項 3 目	し尿処理費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
し尿収集事業	59,116	59,622	△506

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	54,802	報酬	1,319
一般財源	4,314	職員手当等	275
		共済費	317
		需用費	156
		役務費	269
		委託料	56,698

【目的】

市内全域のし尿をくみ取り、清潔な生活環境を保持する。

【4年度目標】

利用者からのくみ取り依頼を遅滞なく事業者へ委託し、適切にし尿の収集を行い、清潔な生活環境の保持を図る。

【実施内容】

- ・非水洗化トイレ及び仮設トイレから発生するし尿を収集し、汚泥リサイクルパークへ搬入する。
- ・し尿収集運搬事業者が行う、新型コロナウイルス感染予防対策への支援を行う。

<し尿収集量>

(単位：kℓ)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (見込み)	令和4年度 (見込み)
収集量	6,323	5,752	5,833	5,692
比較増減 (対前年度)	△245	△571	81	△141

歳出科目（P226～P227）	4款3項3目	し尿処理費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
し尿処理事業	476,264	543,967	△67,703

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	57,200	報酬	1,319
財産収入	30	共済費	298
諸収入	1,211	需用費	269,384
一般財源	417,823	役務費	423
		委託料	203,728
		備品購入費	448

【目的】

全市域から汚泥リサイクルパークへ搬入されるし尿及び浄化槽汚泥を、廃棄物の処理及び清掃に関する法律や水質汚濁防止法に基づき適正に処理し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

【実施内容】

- ・会計年度任用職員報酬、職員手当等、共済費、旅費 1,860
- ・消耗品費（施設運転用薬品、消耗部品等） 51,066
- ・燃料費、印刷製本費、光熱水費 108,000
- ・修繕料（水処理設備定期修繕、各種ポンプ修繕等） 110,318
- ・施設管理委託料（貯留槽砂上清掃処分、環境測定分析業務等） 32,436
- ・し尿処理施設運転業務委託 167,046
- ・計量受付及び電気設備点検業務委託 2,860
- ・汚泥、し渣沈砂外部搬出・処分委託 1,386
- ・備品購入費 448
- ・その他施設管理経費（使用料及び賃借料、原材料等） 844

<し尿、浄化槽汚泥搬入量>

(単位：kℓ)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (見込み)	令和4年度 (見込み)
し尿	6,323	5,752	5,833	5,692
浄化槽汚泥	46,881	45,729	47,551	46,800
合計	53,204	51,481	53,384	52,492